

1 代表者及び名称

名称 有田川町沼谷区
 代表者 中植正富 連絡先 0737 - 26 - 0020
 ところ 和歌山県有田郡有田川町沼谷 110
 HP掲載担当 鈴木清司 0737 - 26 - 0933

特徴ある地域の風景



畑わさび



化石



松茸

2 地域情報

項目	説明内容	備考
アピールしたい地域の魅力	沼谷地区は、海拔450m～700mに位置し、山椒・トマト・わさび・松茸等の栽培が行われている。また、地区を流れる沼谷川流域では、中生代の化石が産出し、採掘のために県外からの訪問者も多い。	
地域・団体の活動目的構成等	世帯数25、高齢化率78%の「超限界集落」であるが、たいへん元気である。沼谷区は、地域住民の生きがいや地域活性化をめざした取り組みを続けている。	
地域・団体の活動履歴	平成22年に「沼谷ユートピアプロジェクト」を策定し、さまざまな活動に取り組んできた。その主なものとして、 あじさいロードや不動七滝遊歩道の整備 わさび・コウゾ・松茸の栽培 救急医療用ヘリポートの設置 公衆トイレの改修 お花見会、ジャズコンサート、灯とぼし、もちまき等の開催 自主防災組織の設立 地域案内板の設置 等々である。	
ボランティアの受入体制	和歌山大学アグリコと地域活性化に向けた協働活動協定書を締結し活動をお願いしている。	
交流実績	平成22年 TBS テレビ番組「ワンステップ」によるボランティアの受け入れ。 平成22年 アストラゼネカ社による地域活動の受け入れ。	

	平成23年～ 和歌山大学アグリコによるボランティア活動を十数回にわたり受け入れ。	
地域の課題、その他	平均年齢73歳を超え、農作業等思うようにできなくなってきている。そのため、ボランティア活動に入っていただくと、まことに有難い。	

3 農村ボランティアを依頼したい内容

年間活動計画をお渡ししますので、下記までご連絡ください。

nakaue.masatomi@indigo.plala.or.jp

中植正富

kiyo-sumi@indigo.plala.or.jp

鈴木清司

ueno.k@lion.ocn.ne.jp

植野克己

詳しい地域情報は、

http://gazoo.com/G-Blog/SHIMIZU_MURA015/index.aspx

「ぶらり沼谷」のブログで。